

中央畜産研修施設の防疫対応について

令和 4 年 4 月
(独) 家畜改良センター
中央畜産研修施設

中央畜産研修施設は、全国各地から様々な職務に従事する方々が参集し、宿泊して研修を受ける施設です。また、施設の敷地内で家畜を飼養しています。

各種研修会の参加に当たっては、これらのことを念頭に、以下のとおり、研修参加前後の防疫対応に十分配慮して頂くようお願いします。

1. 家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する直前1週間は、極力、畜産農家、と畜場等畜産施設の訪問は避けて下さい。

やむを得ず訪問した場合、または畜産従事者が聴講する場合は、畜産施設を退出した後に、携行品（時計、眼鏡等）の消毒・洗浄、着替え、入浴・洗髪等の防疫措置を確実に実施した上で参加して下さい。

なお、畜産施設で使用した衣類、靴及び物品は、研修施設には、絶対に持ち込まないで下さい（洗濯・消毒済みのものであっても使用できません）。

2. 万一、悪性伝染病の防疫作業に従事する場合は、作業後7日間以上空けてから研修に参加できるよう業務計画を立てて下さい。

なお、豚熱が発生した畜産関連施設が存在する都道府県の養豚関連施設に入った車両（公用車・通勤自家用車等）で来所する場合は、車両の洗浄・消毒を実施後28日以上空けた車両をご使用下さい。

3. 以上の他に、現地研修や家畜を扱う実習が予定されている研修では、更に参加条件を付したり、施設入所後の防疫措置をお願いすることがありますので、ご承知置き願います。

4. また、研修参加後は、各自の職場の防疫ルールに従って職務復帰して下さい。

連絡先

独立行政法人 家畜改良センター
中央畜産研修施設

電話 0248-25-7060

FAX 0248-25-6755